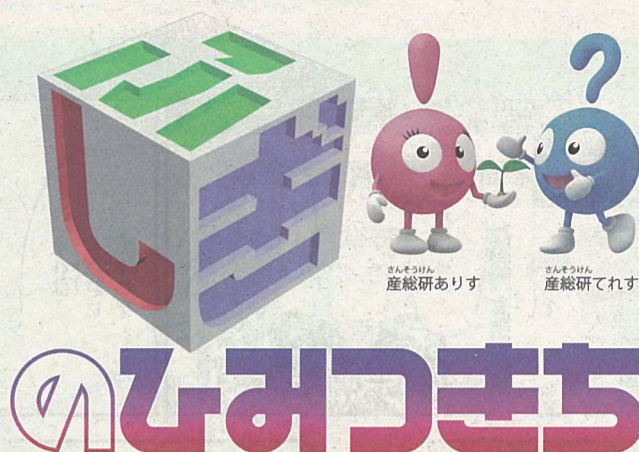


今回のテーマ

サンゴとサンゴ礁



のひみつきち

No.011

過去のサンゴから地球の歴史を調べたり、現在の暮らしを考えたりします。

スキューバダイビングで暖かい海に行くと、雄大な大海原にサンゴ礁を見渡せることがあります。サンゴ礁にはジャングルのように、たくさんの生物がすんでいます。ここでは、きれいな魚に癒やされるだけでなく、海からの恵みをもたらしてくれます。

国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」の14番目には「海の豊かさを守ろう」があります。サンゴ礁を守ることは海の豊かさを守ることと同じくらいの意味があるのです。

◇サンゴの正体は？

ところで、サンゴ礁という言葉はよく聞きますが、何のことが知っていますか。

サンゴ礁は、石のような家をつくる生物であるサンゴやその仲間たちが死んだ後に長年にわたって積み重なって作られた地形のことです。暖かくてきれいな水のある浅瀬にしかできません。日本のサンゴ礁は



このサンゴたちが何年もかけてサンゴ礁をつくるのね♡

動物と植物のいいとこどり？ スゴいな、サンゴ！

画像提供：井口 亮さん(産総研)

海岸近くにある小さなものが多いのですが、オーストラリアのグレートバリアリーフのように幅が80キロ、長さが2000キロを超える大きなサンゴ礁もあります。

サンゴは生物と書きましたが、正確には動物でクラゲの仲間です。でも、自由に動けないため、触手を使ってプランクトンなどを食べています。また、

体の中にすむ植物による光合成からも栄養分を得ています。その栄養分をもとにしてプランクトンから得た炭素と海水中のカルシウムから石のような骨格を作ります。

◇4億年前に出現

サンゴは4億年ほど前に出現したといわれます。その長い年月の中で取り込んだ炭素やカ

ルシウムなどから地球の歴史がわかります。産業技術総合研究所では、サンゴから過去の海の様子を調べたり、調査に適したサンゴの見分け方なども開発したりしてきました。

沖縄や鹿児島にはサンゴ礁が盛り上がってきた島もあり、その地質を詳しく調べた結果が、災害対策に役立てられています。

今日の先生



小笠原啓一さん

「化学の博士です。ダイビングインストラクターもやっています。小学生時代は算数、理科、体育大好き」

産業技術総合研究所(産総研)広報部。専門は、効率の良い化学系システムの開発。出身小学校は東京都西東京(当時は田無)市立田無小。

さんそうけんって？

日本で最大級の公的研究機関なんだ。茨城県つくば市など、全国11か所の研究拠点があって、日本の産業や社会に役立つ技術について研究を進めているよ。

キッズむけウェブサイトはこちら → (さんそうけんサイエンスタウン)

